



第16期中間報告書

2018年4月1日▶2018年9月30日

サクサ ホールディングス 株式会社

証券コード 6675



代表取締役社長 松尾 直樹

株主の皆様には、平素よりサクサグループに対しまして、格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間のわが国の経済は、堅調な企業業績を背景に、緩やかな回復基調で推移しましたが、米中の通商政策による貿易摩擦など世界経済の下振れリスクの増大などにより、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中で、当企業グループは、「持続成長可能な事業への転換」と「あるべき姿に向けた事業構造への変革」を基本方針とした新中期経営計画(2017年度から2019年度までの3か年)を策定し、当連結会計年度においては、最終年度である2019年度の経営目標達成に向け事業構造の再構築と経営基盤の強化に継続して取り組んでまいります。

当第2四半期連結累計期間につきましては、生産

性の向上や多様な新しいワークスタイルに対応し、オフィスに柔軟で新しい働き方を提供する働き方改革サーバ「GF1000」の発売を開始いたしました。

中小規模オフィスにおけるオフィス運営代理人システム「Office AGENT」シリーズのラインアップに追加し、社会的な課題である働き方改革の実現と、安心、安全、快適、便利なオフィス環境の向上を目指してまいります。

また、グループ内の生産子会社であるサクサテクノ株式会社と株式会社コアタックを2018年11月1日付で合併させ、生産機能の集約により経営効率を向上するとともに一貫した生産体制を構築することにより、経営基盤の強化とEMS事業の拡大を実現してまいります。

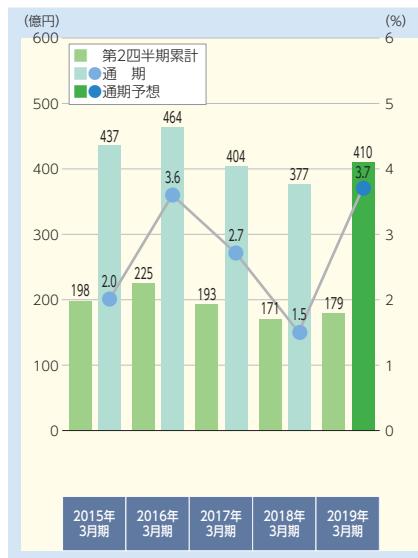
当第2四半期連結累計期間の売上高は、OEMキーテレホンシステムの受注減少はありましたが、自社キーテレホンシステムやアミューズメント市場向けの製品および加工受託の受注増加などにより179億2百万円(前年同期比4.9%増加)となりました。

利益面では、売上の増加に伴う利益の増加に加え、事業効率化に伴う減価償却費の減少などにより、経常利益が5億5千3百万円(前年同期比3億9千万円増加)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2億8千1百万円(前年同期比2億4千8百万円増加)となりました。

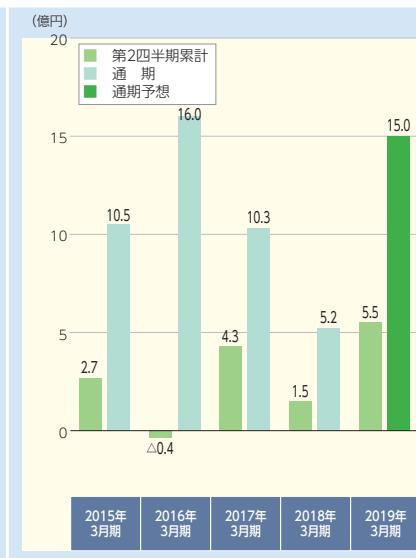
今後とも株主の皆様のご期待にお応えするため、なお一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご支援、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

■売上高(左目盛) ●売上高経常利益率(右目盛)



■営業利益



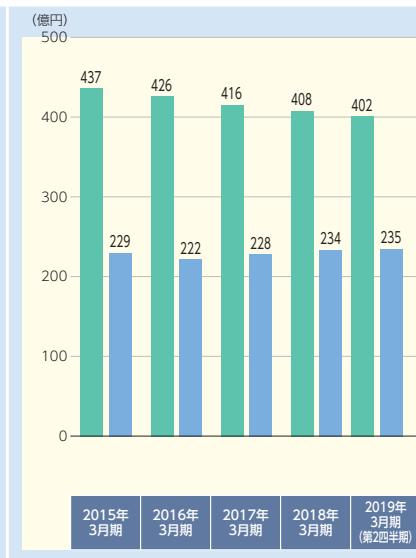
■経常利益



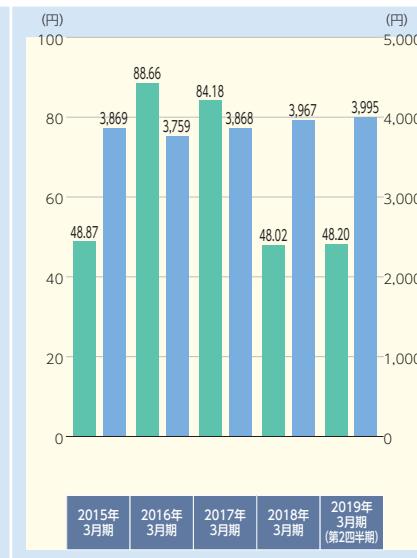
■親会社株主に帰属する当期純利益



■総資産 ■純資産



■1株当たり当期純利益(左目盛) ■1株当たり純資産(右目盛)

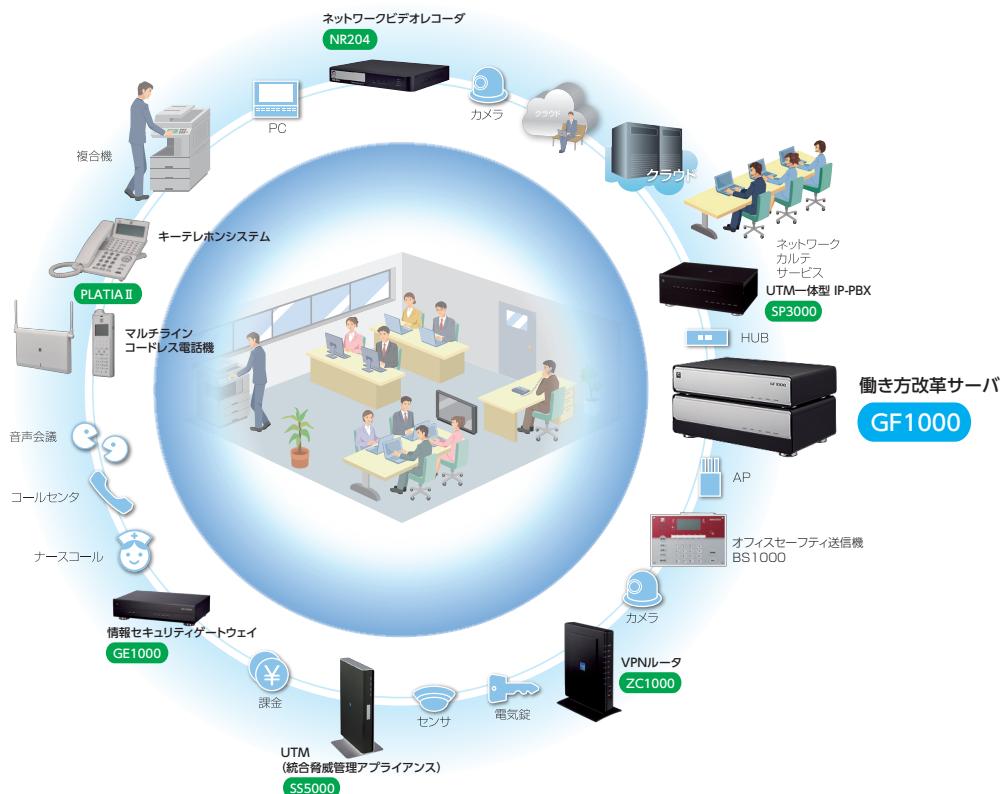


※ グラフの数値については、表示単位未満を四捨五入しております。

事業拡大に向けた取組み

オフィスに柔軟で新しい働き方を提供する働き方改革サーバ「GF1000」を新発売!

サクサ株式会社(以下「サクサ」という。)は、中小規模オフィスにおけるオフィス運営代理人システム「Office AGENT」シリーズの一つとして、企業において働き方改革を推進し、業務効率化や生産性の向上をもたらす働き方改革サーバ「GF1000」を2018年8月から発売いたしました。



Office AGENT

サクサの「Office AGENT」シリーズは、サクサが情報システム部門のない中小規模オフィス向けにご提供する、オフィス運営代理人システムです。サクサのオフィスソリューション提供ノウハウを集結し、ネットワーク商材を連携させることで、お客様の「お困りごと」をスピーディに解決いたします。

サクサはこれまで、データバックアップ、ファイル共有、遠隔地からのアクセスなど、安心かつ効率的な業務を実現するファイルサーバとしてSB2100を提供してまいりましたが、今回新たに発売する「GF1000」は、働き方改革実現のために何から手を付けて良いかわからないお客様に、「過去に蓄積されたデータの活用」、「場所を選ばない働き方の促進」、「適切な情報セキュリティ対策」をポイントに、データファイルの共有、管理や文書の作成、利活用といった場所や時間に囚われない働き方の具体的なアクションを可能にします。また、利便性が向上するとともに不安となる情報セキュリティの確保や適切な労務管理も行うことができます。

事業創生に向けた取組み コールセンター/CRM デモ&コンファレンス 2018 in 東京への出展

サクサグループは、中期経営計画における事業創生の一つとして、従来培った音声通信分野のサービス提供の事業化に取組んでおります。その一環としてサクサ株式会社は、2018年11月15日および16日にサンシャインシティ文化会館で開催された「コールセンター/CRM デモ&コンファレンス 2018 in 東京」に音声分析アプリ・クラウドサービスである「サクサボイスクラウド」を参考出展し、音声認識、対話要約、感情解析などの音声解析のデモンストレーションを実施いたしました。



展示ブースの様子

四半期連結財務諸表(要約)

●四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前期末 (2018年3月期)	当第2四半期末 (2019年3月期)
(資産の部)		
流動資産	23,439	22,797
固定資産	17,358	17,368
有形固定資産	9,395	9,373
無形固定資産	2,232	2,320
投資その他の資産	5,729	5,675
繰延資産	0	—
資産合計	40,798	40,166
(負債の部)		
流動負債	12,013	11,830
固定負債	5,416	4,821
負債合計	17,430	16,651
(純資産の部)		
株主資本	21,944	22,050
資本金	10,836	10,836
資本剰余金	6,023	6,023
利益剰余金	6,330	6,436
自己株式	△1,245	△1,246
その他の包括利益累計額	1,236	1,286
非支配株主持分	186	177
純資産合計	23,367	23,514
負債純資産合計	40,798	40,166

●四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (2018年3月期)	当第2四半期累計 (2019年3月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,880	1,170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,187	△791
財務活動によるキャッシュ・フロー	△997	△771
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	1
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△303	△392
現金及び現金同等物の期首残高	8,310	7,821
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,006	7,428

※P5に記載の数値については、表示単位未満を切り捨てております。

●四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (2018年3月期)	当第2四半期累計 (2019年3月期)
売上高	17,067	17,902
売上原価	12,481	12,908
売上総利益	4,586	4,994
販売費及び一般管理費	4,434	4,440
営業利益	152	553
営業外収益	95	94
営業外費用	85	94
経常利益	162	553
特別利益	0	0
特別損失	4	83
税金等調整前四半期純利益	157	469
法人税等	113	190
四半期純利益	44	279
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	33	281

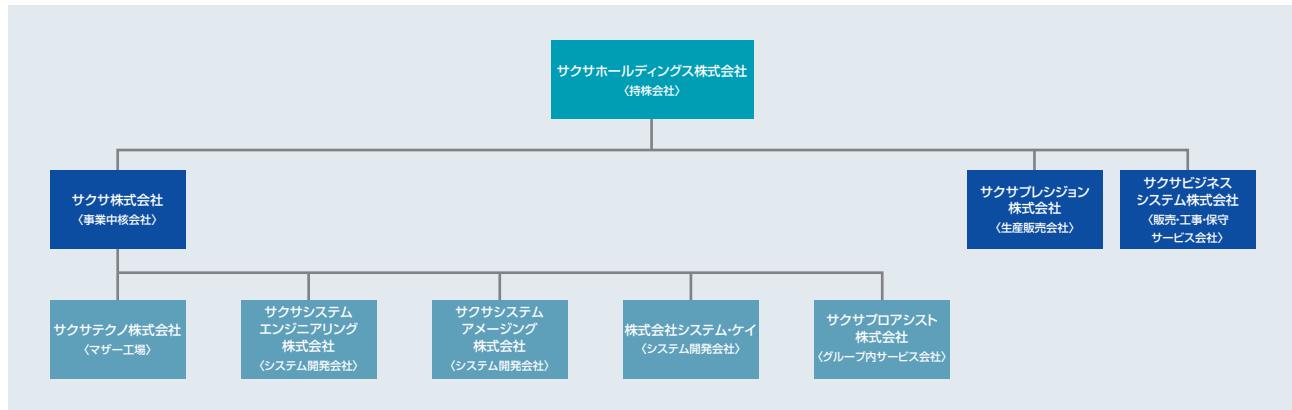
●四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (2018年3月期)	当第2四半期累計 (2019年3月期)
四半期純利益	44	279
その他の包括利益	205	49
四半期包括利益	249	329

グループ会社および当社の概要

● サクサグループ(9社) (2018年11月1日現在)



※グループ内の生産子会社であるサクサテクノ株式会社と株式会社コアアタックは2018年11月1日付で合併いたしました。

● サクサ ホールディングス 株式会社 (2018年9月30日現在)

設立年月日 2004年2月2日

資本金 10,836,678,400円

従業員数 1,145名(連結)、40名(単独)

本社 東京都港区白金一丁目17番3号 NBFプラチナタワー

事業内容 情報通信システムの機器および部品の開発、製造および販売を主として行う子会社の経営管理等

取締役および監査役

代表取締役社長	松尾 直樹	取締役	曾我部 敦	常勤監査役	江藤 進
常務取締役	磯野 文久	取締役	丸井 武士	監査役	梅津 光男
常務取締役	大坂 貢	取締役	布施 雅嗣	監査役	飯森 賢二
取締役	中村 耕児	取締役	小口 喜美夫	監査役	清水 建成
取締役	井上 洋一	取締役	山本 秀男		

※1. 布施雅嗣、小口喜美夫および山本秀男の3氏は、社外取締役であります。また、小口喜美夫および山本秀男の両氏を株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定し、届け出ております。

※2. 飯森賢二および清水建成の両氏は、社外監査役であります。また、両氏を株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定し、届け出ております。

株式の状況

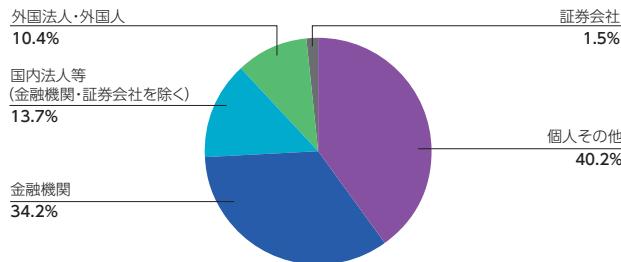
- 発行可能株式総数 24,000,000株
- 発行済株式の総数 6,244,962株
- 株主数 5,580名

大株主

株主名	持株数	持株比率
沖電気工業株式会社	814千株	13.9%
日本電気株式会社	236千株	4.0%
株式会社みずほ銀行	233千株	4.0%
株式会社三井住友銀行	176千株	3.0%
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	169千株	2.9%
水元 公仁	169千株	2.9%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	158千株	2.7%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	109千株	1.9%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	98千株	1.7%
株式会社三菱UFJ銀行	95千株	1.6%

- ※1. 当社は、自己株式402千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
- ※2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。
- ※3. 沖電気工業株式会社の持株数には、沖電気工業株式会社が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式605千株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 沖電気工業口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)
- ※4. 株式会社みずほ銀行の持株数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式177千株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)
- ※5. 持株数については、表示単位未満を切り捨て、持株比率については、表示単位未満を四捨五入しております。

所有者別分布状況



※ 所有者別分布状況に記載の数値については、表示単位未満を四捨五入しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
期末配当の基準日	3月31日	
定時株主総会	6月	
基準日	3月31日 その他、必要があるときは、あらかじめ公告して定める日とします。	
公告掲載URL	https://www.saxa.co.jp/ ※ 当社の公告の方法は、電子公告としております。ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
郵便物送付先	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部	
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当受取り方法の変更等)	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)	
未払配当金のお支払	お取引の証券会社等になります。 みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店	
ご注意	みずほ信託銀行 みずほ銀行	本店および全国各支店 本店および全国各支店 特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。